

## 目標達成計画

作成日: 平成 24 年 12 月 5 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	入居者の中において自己の意思を表出しない又はできない人に対する各職員の対応が充分ではないのか。1日のうち何もしない時間も必要であるが共有スペースのテーブル、椅子に項垂れている。	入居者全員が顔貌が笑顔で生き生きとして楽しく過ごしている日々の現出。	介護の3本柱である食事、入浴、排泄はもちろんQOLの一環としての本人の趣味、特技、関心事を認識理解して個別に対応していく。	6ヶ月
2	36	殆どの職員はできているが2~3名の職員で注意をするが言葉使いが適切でない人がいる。	1人2人の職員の為に全職員がホーム全体が一緒に悪く評価されない事も含め一義的には入居者の人格を尊重する認識を高める。	よそよそしい言葉ではなくやさしい言葉、相手の気持ちを理解した或いは落ち着いてゆっくりした言葉使い忙しいからといって急かさな言葉多用する事。	6ヶ月
3	3	前回評価にても問題提起しているが新入職者を含め日々処方箋の変更も含め今回も取っつきにくい分野ではあるので強いて問題提起	処方箋の変更を始め常に入居者の薬剤の認識、理解把握を全職員はもちろん特に新入職者をも早く誰であっても対応できるよう高める。又、誤薬時の有事の事態にも対応できるように。	各職員がいつでも対応できるよう実際に薬剤が届いたら薬の説明書、日付管理、残日数管理を始め薬剤への認識を高める。資料がないときなどはインターネット等にて検索し理解を深める。	6ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。